

防災だより

平成 26 年 7 月 第 25 号
下田市地域防災課防災係
Tel.0558-36-4145

●防災用簡易トイレの寄贈を行いました。

7月3日、ネットトヨタ静岡(株)から、昨年度に引き続き下田市へ防災用簡易トイレを400枚寄贈していただきました。災害時にトイレが使えない事は非常に大きな問題となっています。

いただいた防災用品は、災害時に有効活用できるよう市内広域避難所に配備します。



◆津波についての知識を増やしましょう。

地震が起きた時、陸での地震対策も大切ですが、海岸での備えは大丈夫ですか？

過去、下田市では大きな地震の後に、何度も津波がおきています。津波は、沖合から海岸に近づき海底が浅くなるにつれて波高が高くなり、海岸線では沖合の数倍に達します。地震による津波の知識を増やし災害に備えましょう。

海岸付近で突然地震の揺れを感じたら？【とにかく高い所へ避難！！】

※出典（静岡県地震ガイドブック）

強い地震（震度4程度以上）を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう

地震だ、津波だ、すぐ避難！	海岸付近にいて、地震の揺れを感じたとき (長い時間ゆっくりと揺れを感じたときにも)	→	ただちに 高い所へ
	津波警報が出たとき (津波：2m以上、大津波：3m以上)	→	海岸にいる人は 高い所へ速やかに避難
	津波注意報が出たとき (高い所で数十cm程度)	→	避難対象地区の皆さんは ただちに避難
	警戒宣言が発令されたとき	→	避難対象地区の皆さんは ただちに避難

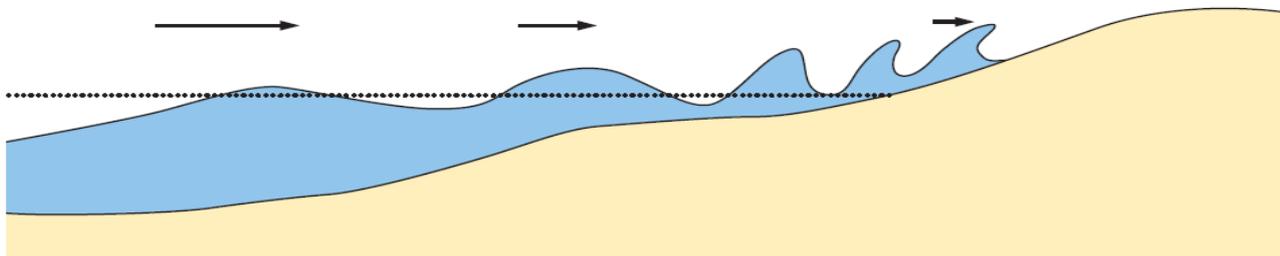
突然地震が発生した場合は、数分で大津波が襲来します。

●避難勧告や指示を待っている余裕はありません。一刻も早く高い所へ。

●あらかじめ、夜間の避難訓練などを行い、避難の経路や時間を調べておく（※自ら歩いて確認する。）

(注) … ●津波は1波、2波、3波と繰り返し襲ってきます。必ずしも第1波の波が最大とは限りません。

●かなりの時間、警戒が必要ですので海岸付近に近づかない。



◆津波から身を守るには？

- 津波から身を守るためには、日頃からの災害に対する備えが重要です。

ハザードマップ等を用いて、自宅・勤務地・学校における危険度を把握しましょう。また、避難場所・避難経路や緊急連絡先を家族で確認しておきましょう

下田市津波ハザードマップは下田市ホームページ・携帯アプリから閲覧できます。是非ご利用ください。

下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

- 避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。非常時持ち出し袋などはいつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

◆気象庁の津波警報、注意報について

※出典（国土交通省）

津波による災害の発生が予想される場合に、津波が発生してから約3分（一部の地震については最速2分程度）を目標に津波警報または津波注意報を発表します。

■津波警報・注意報の種類

警報注意報の分類	発表基準	予測される津波の高さ	
		数値での発表	巨大地震（M8超）
大津波警報	10m < 予想高さ	10m超	巨大
	5m < 予想高さ ≤ 10m	10m	
	3m < 予想高さ ≤ 5m	5m	
津波警報	1m < 予想高さ ≤ 3m	3m	高い
津波注意報	0.2m < 予想高さ ≤ 1m	1m	（表記しない）

（注）大津波警報は、特別警報に位置づけられています。これまでどおり大津波警報という名称で発表されます。

（注）津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲来するおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。

お知らせ

平成26年8月31日（日）に、静岡県・賀茂地域総合防災訓練を行います。
会場となります、敷根公園・市民スポーツセンター・市民文化会館・高齢者生きがいプラザ・基幹集落センターにおいて、使用制限をさせていただきます。
利用者の皆様には、ご迷惑をおかけすることとなりますがご理解とご協力をお願いします。

問合せ先

〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 下田市地域防災課防災係
TEL 0558-36-4145 FAX 0558-22-3910